

Focus

仏マクロン大統領誕生、ルペン・リスク回避へ。しかし欧州はEU継続を問う選挙続く

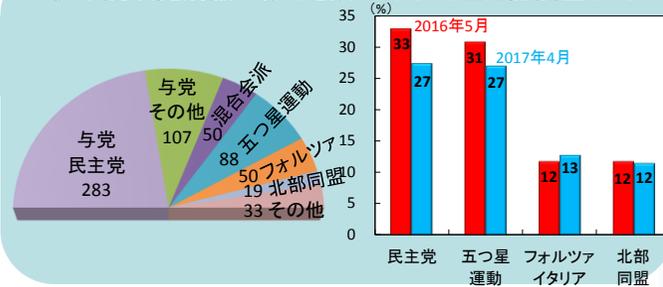
仏大統領選速報(左)と下院政党別議席数(定数577)(右)



【図1】当面の欧州政治日程



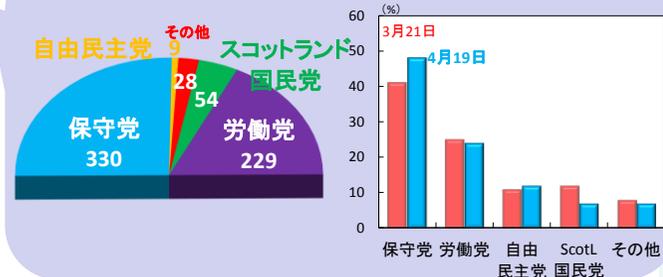
伊下院政党別議席数(定数630)(左)と世論調査(右)



独下院政党別議席数(定数630)(左)と世論調査(右)



英下院政党別議席数(定数650)(左)と世論調査(右)



注) 図中、半円グラフ数字は議席数。世論調査は主要政党のみ表示。出所) 各国議会HP、フランス内務省、Bloombergより当社経済調査室作成

■マクロン次期フランス大統領誕生へ

世界が注目したフランス大統領選の決選投票は大方の予想通り、中道派のマクロン候補の勝利が濃厚です(図1左上)。市場は今後、ひとまず欧州の景気モメンタム加速へ照準を当て株式市場を盛り上げましょう。もっとも、当面は主要国議会選から目が離せません。特にイタリアの政治動静は最も警戒されましょう。

■主要国株式市場は予想通りの結果を好感

既にユーロ下落リスクを回避する持ち高は概ね解消に向かっていたため、日本時間8日早朝の為替市場は比較的冷静、主要国の株式市場はEU(欧州連合)離脱を謳うルペン・リスク回避を好感しましょう。但し主要欧州国債で最も信用リスクが高いイタリア国債の買戻しは強まらないとみています。2日にアリタリア航空が破綻する中、同国政情の混迷も予想され「次はイタリア」とみられるためです。

■マクロン次期大統領の政権運営は前途多難。注目は6月仏下院選

マクロン次期大統領の政権運営は前途多難です。中でも公約のEU深化、すなわちEU各国財政を統合し国債に代わるEU国債の発行等、その実現には6月下院選勝利、これらに消極的な盟主ドイツの説得は不可欠です。2大政党外初の仏大統領による巨艦EU号の操舵は(任期)5年後、仏ルペン・リスクの有無に影響しましょう。

■欧州はEU継続問う転換期。5月独州、9月独議会、そして懸案のイタリア

市場はひとまず景気(ユーロ圏1-3月期実質GDPは前期比+0.5%と堅調)の加速をテーマとしましょう。しかし今後も事実上のEUの是非を問う選挙が続きます(図1)。特にイタリアでは過激な反体制派で高支持率の五つ星運動が今年予想される選挙で反EUを謳い政権を奪う恐れもあります。仏ルペン候補は「国民は継続を選択」と敗戦の弁、各国は今、EU継続を問う転換期を迎えています。(徳岡)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通し・分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

Markit Economics Limitedの知的財産権およびその他の一切の権利はMarkit Economics Limitedに帰属します。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会